

# ドーバー海峡トンネルを掘れ

—二十世紀最後のビッグプロジェクトに挑んだ日本人たち—

[著] 仲 俊二郎

1980年代、日本はジャパンアズナンバーワンと称賛され、経済力・技術力の絶頂期にあった。本書はその頃の熱きビジネスマンたちの物語である。

ドーバー海峡トンネル工事は二十世紀最後のビッグプロジェクトと呼ばれた。世界のトンネル掘削機メーカーは我こそはと入札に参加し、激しい受注競争が繰り広げられ、川崎重工が受注者となって工事を完成させた。

川崎重工のドーバートンネル工事はNHKテレビのプロジェクトXで二度放映された。その内容はどちらも如何に技術的な困難に立ち向かい、工事を完成させたか。その奮闘する姿を感動的に描いている。しかし受注活動についての言及はない。本書の筆者は営業のプロジェクトマネジャーとして、受注活動に参画すると共に工事遂行の責も負った。その両方を包括した物語を事実に基づくフィクションとして著わしたのが本書である。

猛烈サラリーマンと呼ばれた当時から三十数年の歳月が流れた。働き方も変わり、ワーク・ライフ・バランスをとるようになっていく。誰もが働き過ぎず、等しく休みをとる。果たしてこんなことで日本は大丈夫なのだろうか。世界を舞台にした企業間競争はますます苛烈さを増している。こんな時だからこそ本書を通じ、当時のビジネスマン魂のビビッドな息吹に触れてみる価値があるのではないだろうか。



## ◆目次

- 第一章 蠢動      第二章 受注戦争      第三章 反撃  
第四章 二転三転      第五章 苦難      第六章 さらばフランス

## ◆著者紹介

仲 俊二郎

1941年生まれ。大阪市立大学(現大阪公立大学)経済学部卒業後、川崎重工業に入社。長年プラント輸出に従事。営業のプロジェクトマネジャーとして、二十世紀最後のビッグプロジェクトといわれるドーバー海峡の海底トンネル掘削機を受注し、成功させる。後年、米国系化学会社ハーキュリーズジャパンへ転職。ジャパン代表取締役となり、退社後、星光PMC監査役を歴任。主な著書に、『そうか、そんな生き方もあったのか』『竜馬が惚れた男』『凜として』(以上、栄光出版社)、『ドーバー海峡の朝霧』(ビジネス社)、ビジネス書『総外資時代キャリアパスの作り方』(光文社)、『アメリカ経営56のパワーステム』(かんき出版)などがある。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 Tel 052-915-5211 Fax 052-915-5019
		[発行] エコハ出版 [著] 仲 俊二郎
		<b>ドーバー海峡トンネルを掘れ</b>
		—二十世紀最後のビッグプロジェクトに挑んだ日本人たち—
		336頁/A5判/並製 定価 2,200円(税別)
	冊	ISBN 978-4-86693-692-5 C0093
ご注文は、JRCへ FAX:03-3294-2177 (TEL:03-5283-2230) 株式会社JRC経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		